

北浦三育通信



July 10, 2006 Volume 4

「してよいこと、してはいけないこと」

キリスト教カウンセリングセンターから発行されている小冊子の第42号に CCC 相談所長の賀来周一先生が、このような事を書いておられました。「知的な判断に代わって、子供は情動的に、つまり気持で自分を取り巻く世界には『してよいこと、してはいけないこと』があるのに気づきます。・・・子供にとって『してはいけないこと』は恐ろしさで、『してよいこと』は楽しいファンタジーの世界で感知したことになります。これは言うて聞かせて納得する世界と違います。子供の世界は気持の世界です。考えて事を進める大人の世界と違って、感じて何かをする事でいっぱいの世界です。」このように考えられるならば、なぜそうするのか分からないとしても、とにかく「してよいこと、してはいけないこと」をわきまえる心を養う経験を子供の内に多く積んでおくという事が大切で、やがて成人して社会の中で適切に生きていけるかどうかを決定付ける事になると言えます。北浦三育中学校の寮生活を通して子供から大人への一番大切な階段を生徒達は、駆け上がっています。そして、今ここで世の中には理屈抜きに「してよいこと、してはいけないこと」を判断しなければならない事があるのだという事に気付く色々な機会に遭遇しているのです。教師自身も親自身も子供に恐ろしさと楽しさをバランスよく体験させて「してよいこと、してはいけないこと」に気付かせてあげなくてはその子の将来に不幸を招くことになるといっても言い過ぎではないと思います。

「時の流れ」を寄付していただきました！



この度ある教会の教会員の方より中島健三先生の「時の流れ」という絵画の大作（60号）をご寄贈いただきました。

心から感謝申し上げます。6/29のお昼休みに玄関ホールにて除幕式を行い、展示いたしました。本物の迫力に感動しています。次回お越しの際は、ぜひご覧ください。



7/1(土)千葉茨城地区合同礼拝に多くの参加がありました。感謝！

今回の合同礼拝では720名以上の参加がありました。北浦に来たのが初めてとい

う方が7割以上でしたので学校を見ていただけて本当に良かったと思います。生徒達が一生懸命応対してくれたのを見て多くの方々が感動して下さっていました。この日3年生の2名と千葉教会の教会員1名のバプテスマ式が行われました。おめでとうございます。

2006年7月10日

校長 尾上 史郎